

資料

益田地域の地区別のツキノワグマの目撃，被害ランク

金子 愛・金森 弘樹

Asian Black Bear (*Ursus thibetanus*) Sighting and Damage Rating in Masuda Area

Ai KANEKO, Hiroki KANAMORI

要 旨

島根県西部にある益田地域の旧7市町村の57地区において，ツキノワグマについての住民意識調査を行って，目撃割合，被害割合から6段階のランク付けを行った。すべての調査地区において目撃または被害があったが，なかでも匹見町ではすべての調査地区で目撃，被害ランクが高く，クマの出没頻度が高いことがわかった。

I はじめに

益田地域の地区毎のクマ出没頻度を明らかにするため，2005年6月～2006年2月に旧7市町村別に実施したクマに関するアンケート調査の目撃，被害の結果（金子・金森，2007）から，益田地域の57か所について目撃，被害のランク付けを行った。

II 調査方法

各地区のランク付けは，調査地区毎の回答者の中でクマの目撃者数，被害者数の割合を算出し，6段階の目撃，被害のランク付けを行った（表1，表2）。なお，益田市，美都町，匹見町，津和野町は全ての地区を調査対象としたが，日原町，柿木村，六日市町はアンケート調査の対

表1 目撃のランク分け

ランク	目撃割合 (%)	調査地区数	
0	0	4	.....目撃がない
1	10	6	.....少ない
2	20	14	.....やや少ない
3	30	10	.....やや多い
4	50	14	.....多い
5	100	9	.....非常に多い

表2 被害のランク分け

ランク	被害割合 (%)	調査地区数	
0	0	5	.....被害がない
1	10	11	.....少ない
2	20	15	.....やや少ない
3	30	7	.....やや多い
4	40	10	.....多い
5	70	9	.....非常に多い

\* 目撃割合，被害割合は調査地区毎に，下記の式で算出した。

$$\text{目撃割合 (\%)} = (\text{クマを目撃したことがある回答者}) / (\text{回答者全員}) \times 100$$

$$\text{被害割合 (\%)} = (\text{クマによる被害を受けたことのある回答者}) / (\text{回答者全員}) \times 100$$

象地区でなかった地区があったために、ランク付けの対象としていない地区がある。

### Ⅲ 調査結果

益田市では、クマの目撃、被害ランクが低い地区から高い地区まであったが、なかでも真砂は目撃と被害ランクのいずれも極めて高かった。ついで、鎌手は目撃ランクやや低いものの被害ランクは高かった。また、種と北仙道では、目撃ランクはやや高かった。全体的には、クマの目撃、被害ランクが低い地区が多いことがわかった。

美都町では、東仙道の目撃、被害ランクはやや低いものの、二川と都茂の2地区のランクは高かった。

匹見町では、匹見上と道川の2地区は目撃、被害ラン

クが極めて高く、匹見下も高かった。このことから、匹見町はいずれの地区でもクマの目撃、被害が多いことがわかった。

津和野町では、名賀と直地は被害ランクが高かったが、他の地区では被害ランクはやや低かった。目撃ランクは、直地、笹山、木部では高く、他の地区ではやや低かった。全体的には、いずれの地区でも目撃と被害はあったものの、ランクの低い地区が多かった。

日原町では、11地区で調査を行ったが、池村以外のすべての地区において被害があった。そのうち、須川と上横道は目撃、被害ランクのいずれも高く、極めてクマの出没が多い地区であることがわかった。他の堤田、左鑑、豊、相撲ヶ原下でも出没が多いことがわかった。

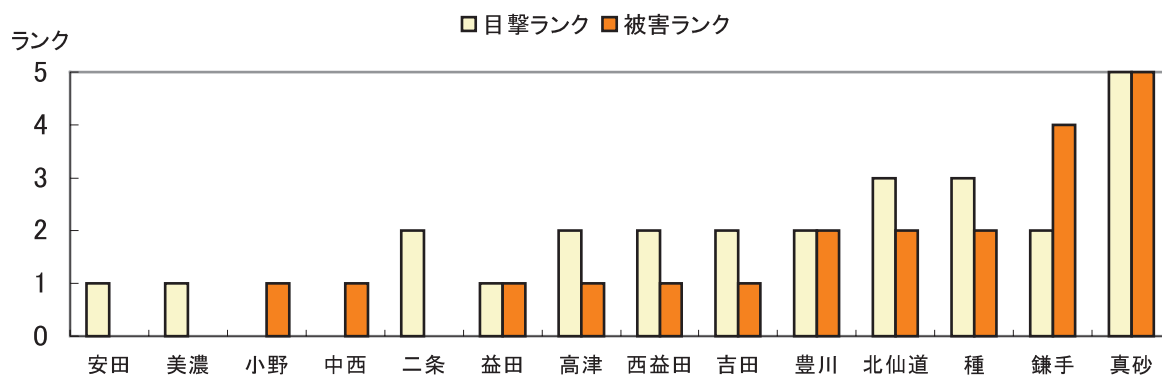


図1 益田市の地区別ランク

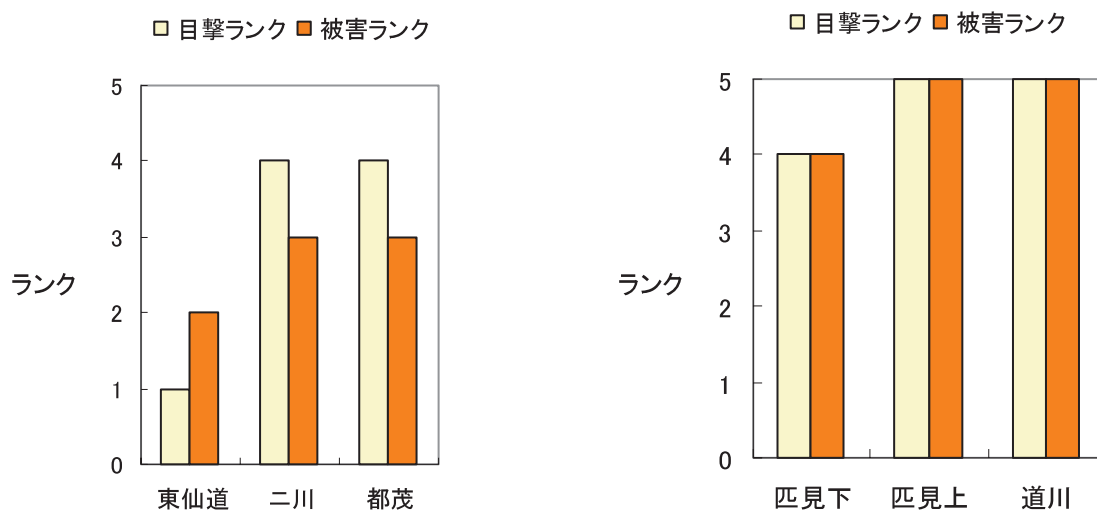


図2 美都町 (左) と匹見町 (右) の地区別ランク

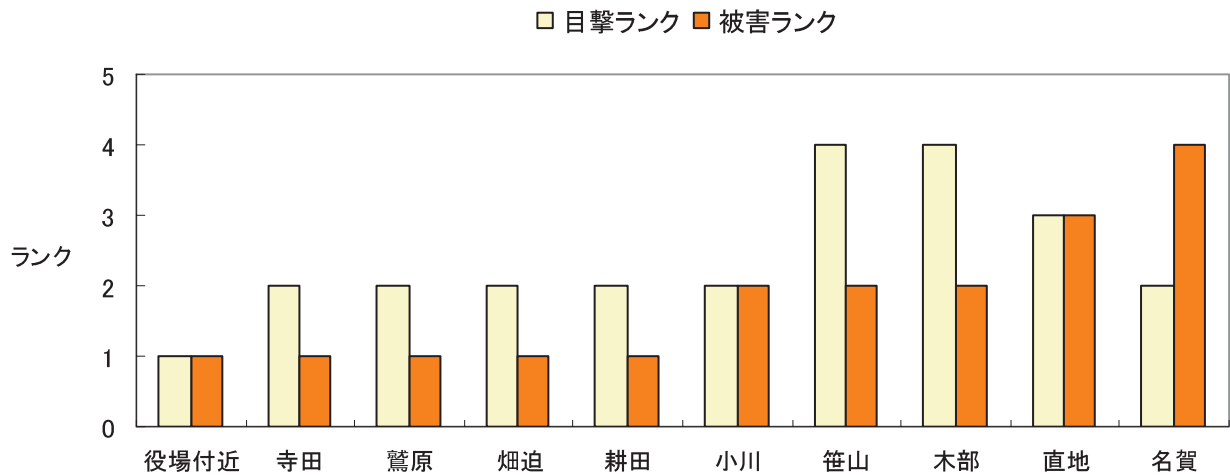


図3 津和野町の地区別ランク

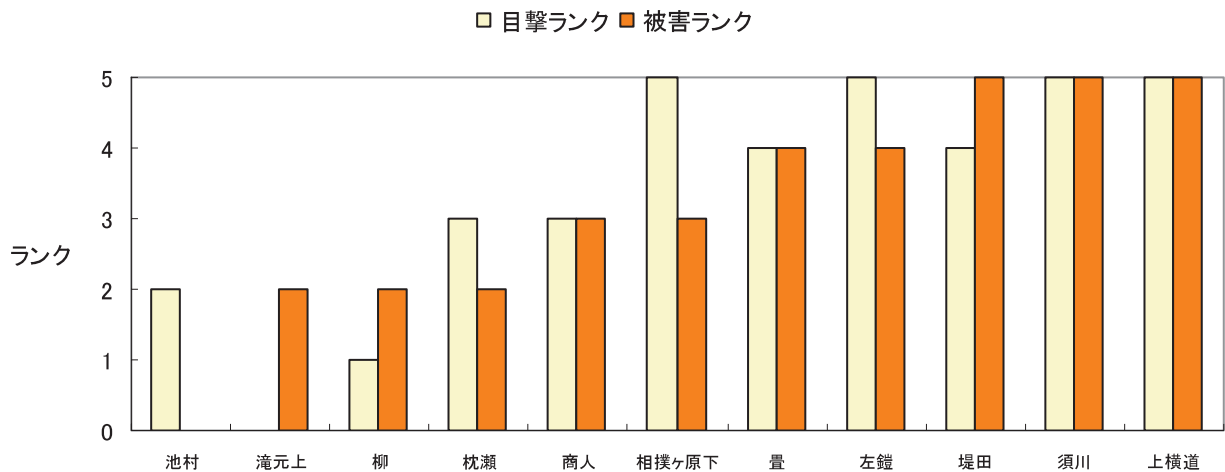


図4 日原町の地区別ランク

柿木村は、栴谷と下須において目撃、被害ランクが0または5と大きな差が生じた。この原因としては、回答者の数（栴谷8人、下須9人）が少なかった影響が考えられた。両地区での2001年度から2005年度までのクマの出没状況を見ると、目撃情報は栴谷では毎年記録があり、下須では2002、2004、2005年度は記録があった。また、捕獲の記録は、栴谷では2002、2003年度、下須では2002年度にあった。

柿木村では、5地区において調査を行ったが、そのうち役場回りを除いた4地区において目撃、被害ランクが5となり、極めて出没の多い地区であることがわかった。

六日市町では11地区において調査をしたが、六日市地

区を除いた他のすべての地区において、目撃、被害ランクが高かった。

全体的には、匹見町、六日市町、柿木村および日原町を中心とする奥山周辺に目撃、被害ランクの高い地区が分布し、人里の多い美都町、津和野町および日原町ではやや低いランクの地区が分布していることがわかった。

本調査の結果は、地区住民が感じるランクとはやや異なる地区もあると考えられる。したがって、このランク付けは、おおよその目安として認識する必要があるものの、今後の地域別のツキノワグマ対策を推進していくための貴重な基礎資料になると考える。

引用文献

金子 愛・金森弘樹 (2007) 益田地域におけるツキノ  
 ワグマに対する住民の意識調査. 島根中山間研報 3, 59  
 ~69

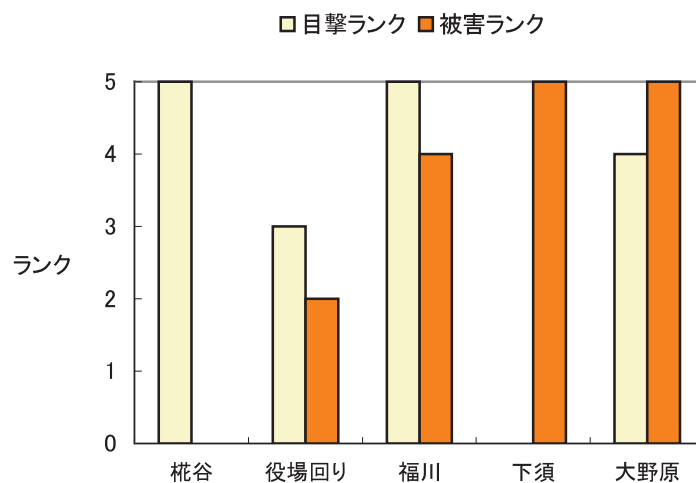


図5 柿木村の地区別ランク

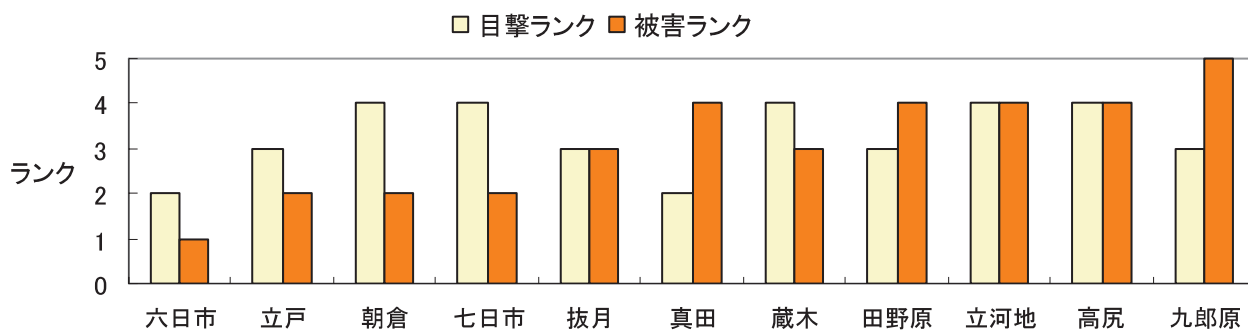


図6 六日市町の地区別ランク



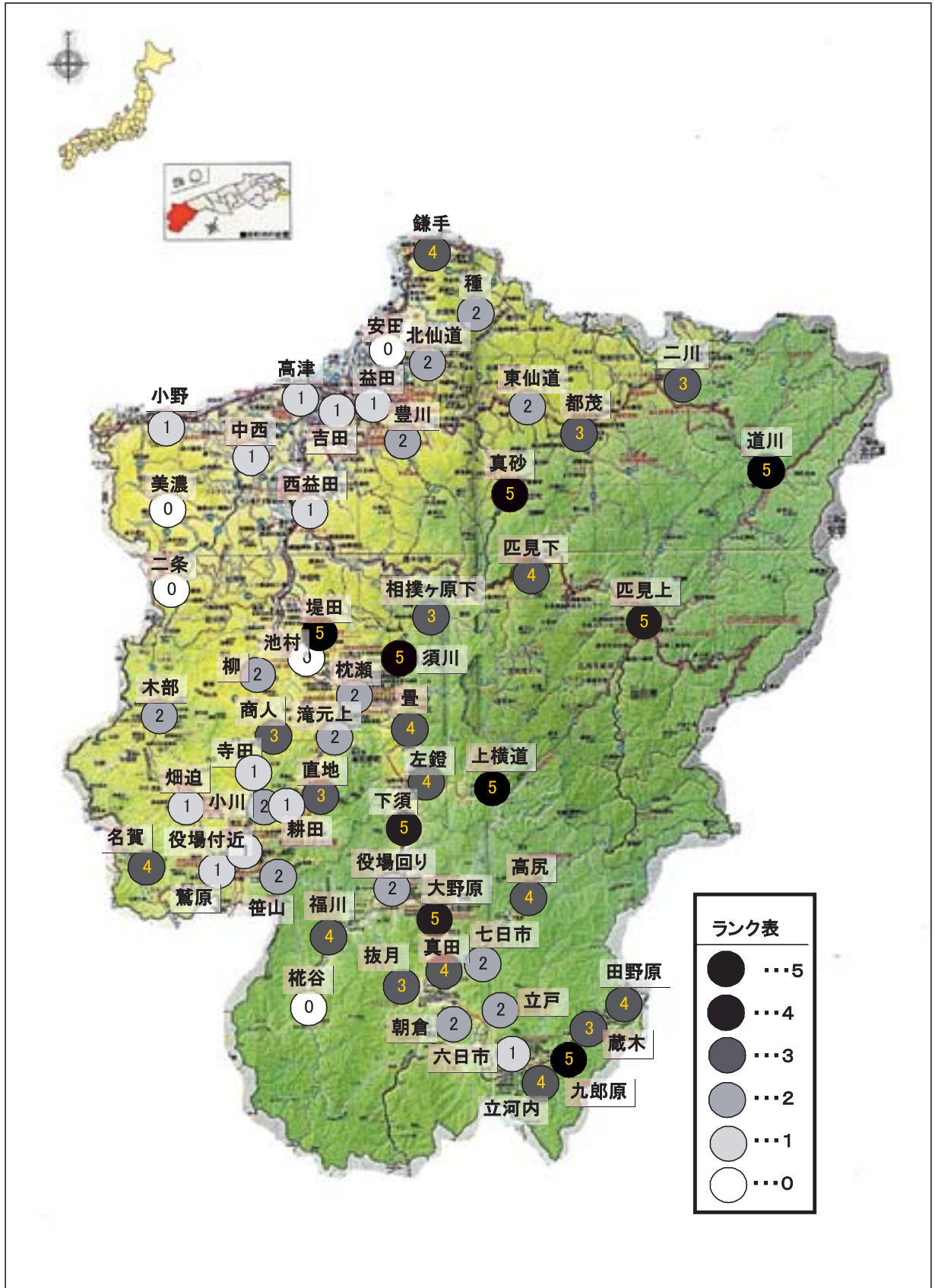


図8 クマ被害ランク地図